

集海日記草稿三

特別
A10
7350
3



わういしん... 〇まけりし石の石... 支那内板...

そし外の... 移る... 〇七口... 移る... 〇七口... 移る...

〇七口... 移る... 〇七口... 移る... 〇七口... 移る...

〇七口... 移る... 〇七口... 移る... 〇七口... 移る...

〇七口... 移る... 〇七口... 移る... 〇七口... 移る...

〇七口... 移る... 〇七口... 移る... 〇七口... 移る...

一月十日... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口...

〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口... 〇七口...

義海

石門壘

仁王門

北堂塔

神庫

南堂殿燈籠

金燈籠

蓮燈籠

石門手水鉢肥前高尾山所献石舎其ともいふ

仁王門仁王高十一丈又西殿玉眼より七丈の堂五百冊

とて施主姓ありていふこといふこといふこと

北堂塔北堂の西にありて南にありて

神庫三つありて南にありて北にありて

南堂殿燈籠神の中央東殿宮 慶有院神 山王宮を巨峰に

陽明の下の石壇の左に神道五宗より神道の南堂殿の燈

籠二基元和三年よりありて

仁王門の南にありて神道の南にありて

蓮燈籠蓮の池にありて

金燈籠金燈籠の池にありて

佛指

大形

唐門

待翁

御本社

西堂宮

左に銅尊ありて神道の南にありて

大形西殿の門より西にありて

唐門左にありて右にありて

待翁の門より西にありて

御本社具在殿北にありて

西堂宮の西にありて

東堂宮の東にありて

南堂宮の南にありて

北堂宮の北にありて

西堂宮の西にありて

東堂宮の東にありて

王宮崇神廟昭々治國功

年東御幣使時謁列侯公

欲知天下美先詠日光宮

男体山

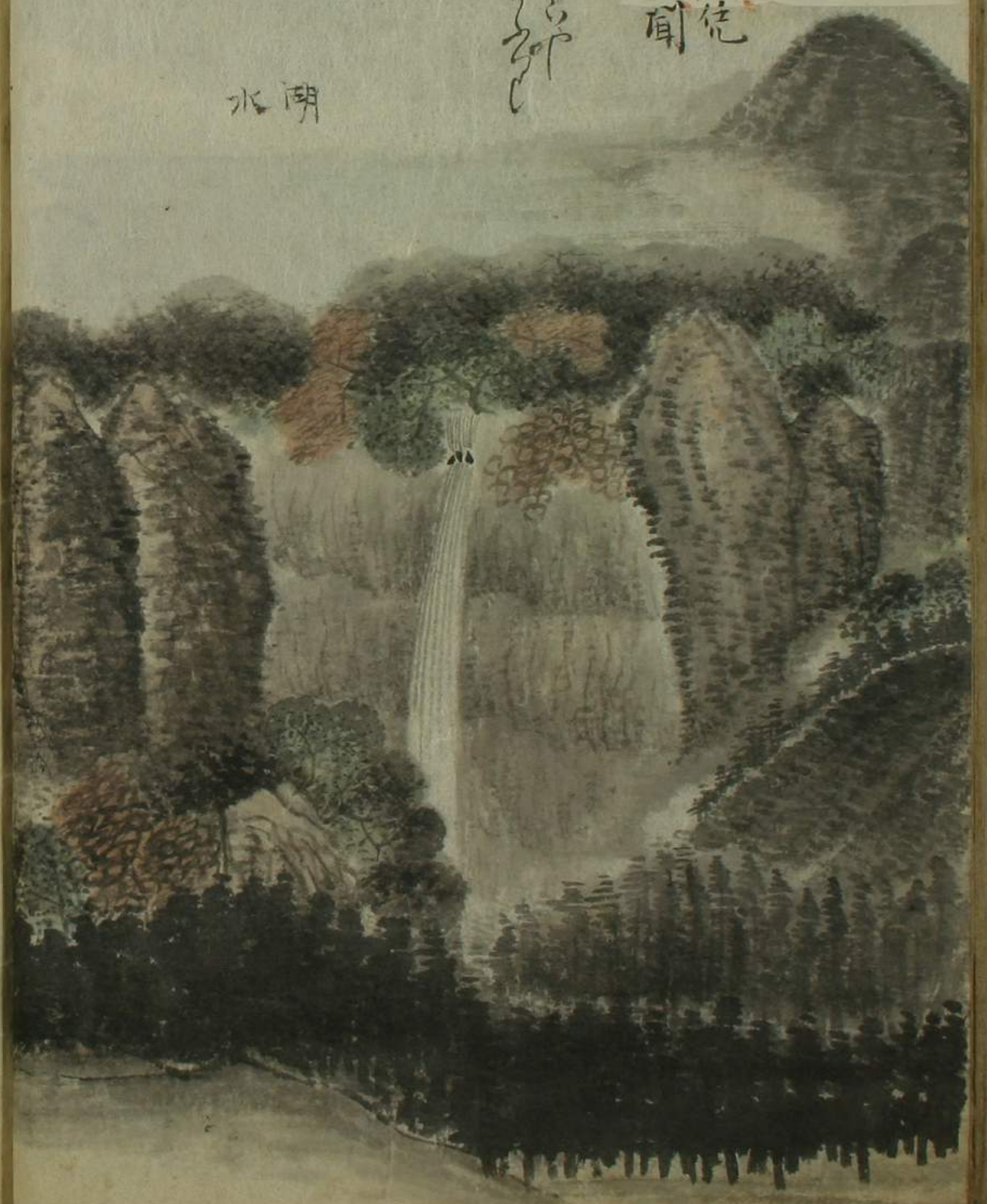
日光中禪寺
湖上眺望

大湖横
巖上孤
塔遙
雲間水
淨明於
鏡照來
男体山



〇顯華嚴瀑
 湖口長流決死
 成一帶雲斷崖絕
 樹俯函谷百雷聞

又
 水
 〇九口



水明

〇九口

一乃何 經朝
 一乃何 經朝
 一乃何 經朝

〇九口
 〇九口

〇九口
 〇九口
 〇九口

〇九口
 〇九口

〇九口
 〇九口
 〇九口

〇九口
 〇九口

此の山を言ふも正しく

日光山一清



芭蕉和書

あゝあゝ

あゝの下の書

日の光



田家一清

くねる

風を写

入あゝの書

あゝの書

あゝの光



○ 菅良日記

元禄二年三月廿一日 川中 千住 力入 一 回 慶信

四月朔 日光 三入 余村 黒羽 雲岩 光成 柳屋

藤原 八幡 國吉 十六日 身 師 本 廿一日 川

矢野 仲店 中 佐 佐田 古山 藤山

五月朔 福高 飯沼 白石 仙居 公持 松山

石倉 戸いさ 一 関 名多山 塚田 尾を伏 十 日

古之書 小書 一 冊

この日記は菅良の日記である。元禄二年三月廿一日、川中、千住、力入、一回、慶信、四月朔、日光、三入、余村、黒羽、雲岩、光成、柳屋、藤原、八幡、國吉、十六日、身、師、本、廿一日、川、矢野、仲店、中、佐、佐田、古山、藤山、五月朔、福高、飯沼、白石、仙居、公持、松山、石倉、戸いさ、一、関、名多山、塚田、尾を伏、十日、古之書、小書、一冊、この日記は菅良の日記である。元禄二年三月廿一日、川中、千住、力入、一回、慶信、四月朔、日光、三入、余村、黒羽、雲岩、光成、柳屋、藤原、八幡、國吉、十六日、身、師、本、廿一日、川、矢野、仲店、中、佐、佐田、古山、藤山、五月朔、福高、飯沼、白石、仙居、公持、松山、石倉、戸いさ、一、関、名多山、塚田、尾を伏、十日、古之書、小書、一冊、

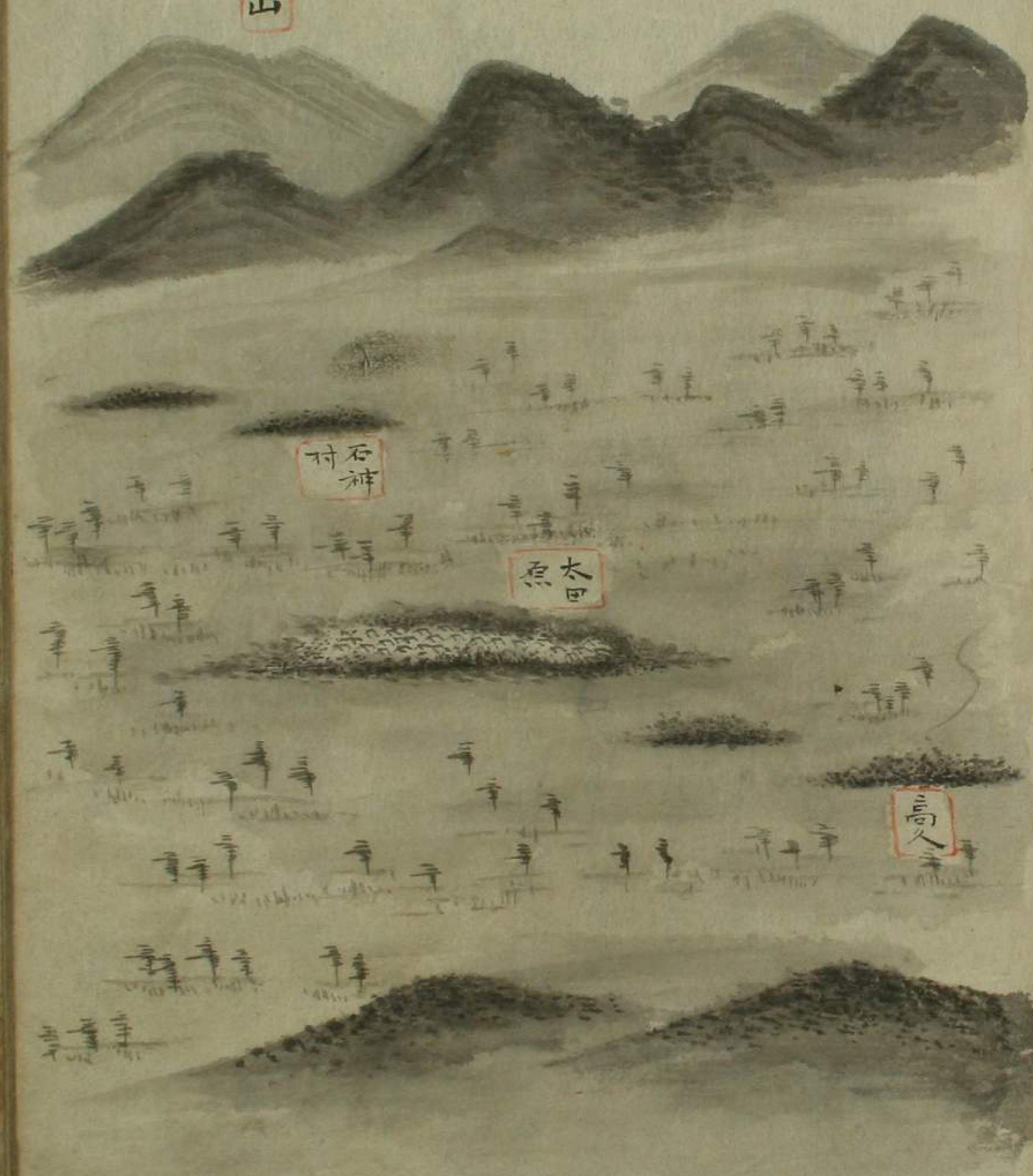
那須野
遠景

那須野
天修真山
沈如結配馬
為師道若
那須野
那須野
那須野

曠原
兩色
財遠相
迎知我
雙刀石
倉花轉

路行
三五家
見空原暫
履疲
御行
鞋掛厨枝
東徒黑羽
振西橋太
田急一百
八十官望
平野望

日光山



存と申すは... 門に... 中に入ら... け... 此... 二...

○十日

... 川... 日... 女... の... 四... 時... 由...

貞三郎
多丸

... 野... 野... 野... 野... 野...

野... 野... 野...

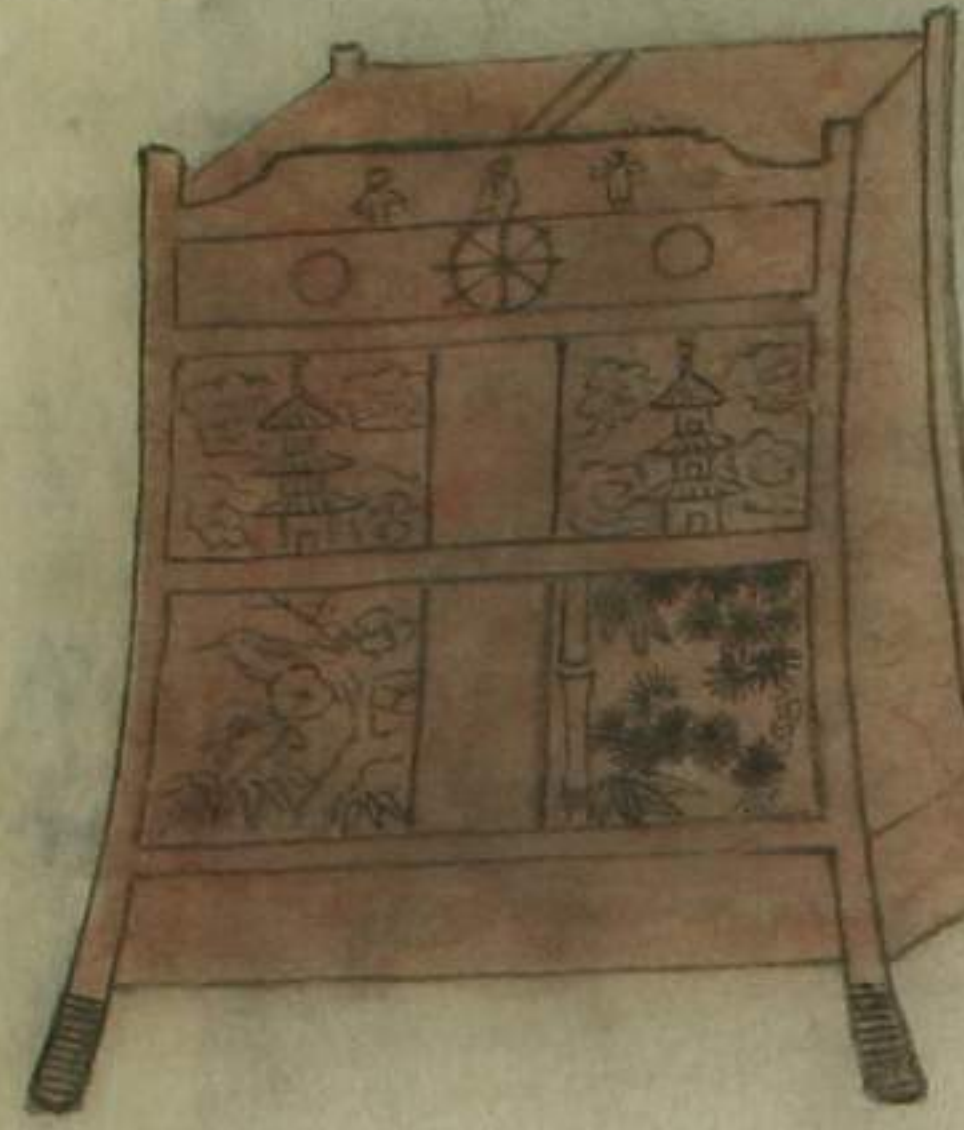
... 野... 野... 野... 野... 野...

佐田姫堂
日野母種山
子ト云平又母ハ蛇背
子ト云平又母ハ蛇背

... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

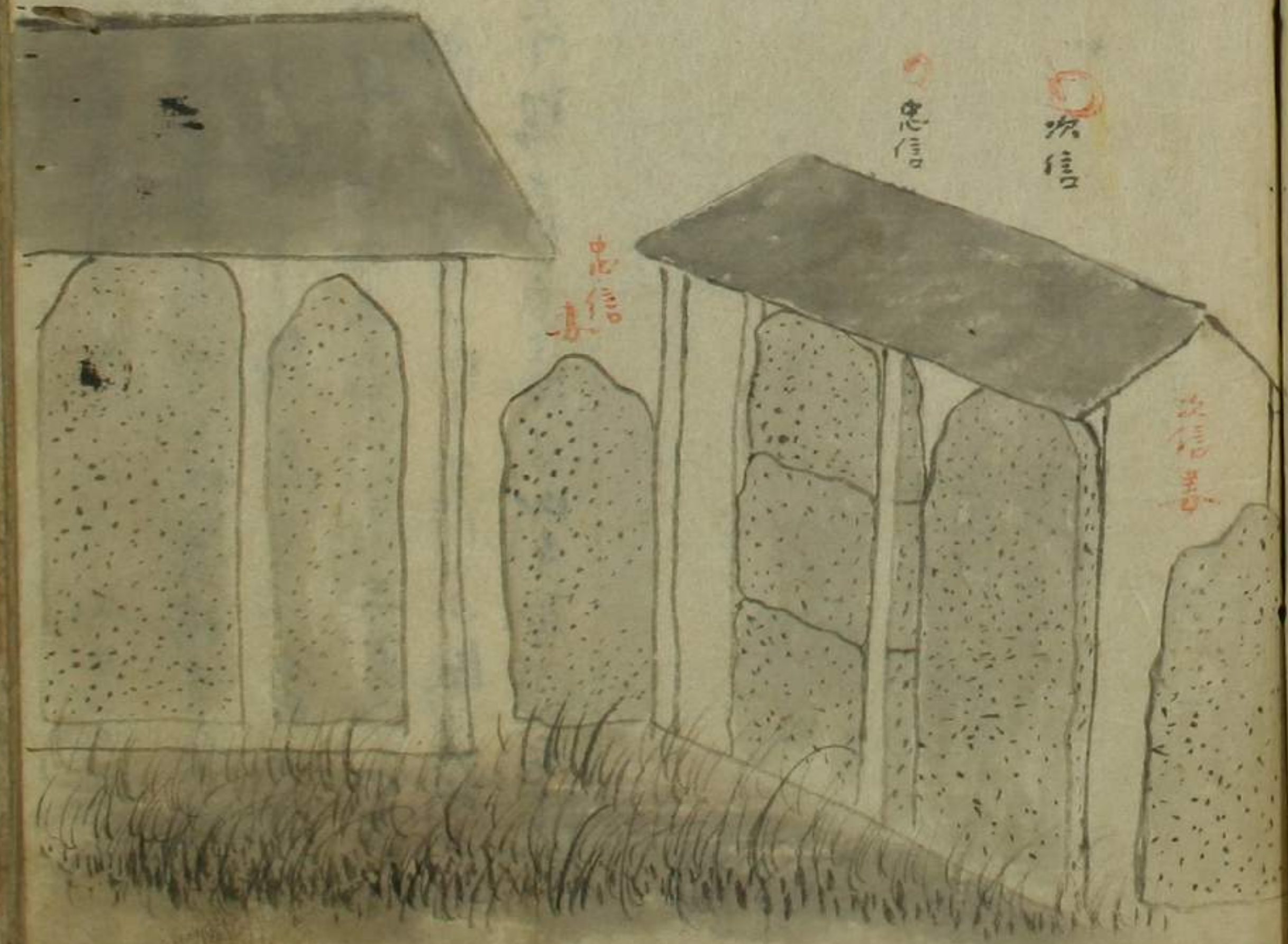


○ 一竿兩頭美經公旗竿



○ 武藏功負 長三丈 帶三尺五寸 八七寸

○ 佐藤氏
大婦墓

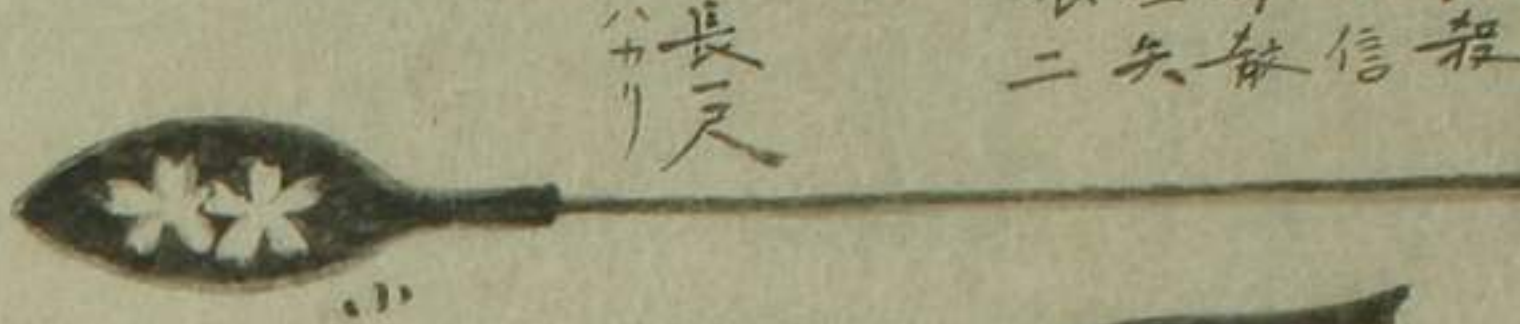


○ 忠信

○ 次信

○ 次信

○ 射程
次信
手敏
經矢
根二



長尺



大計
長寸



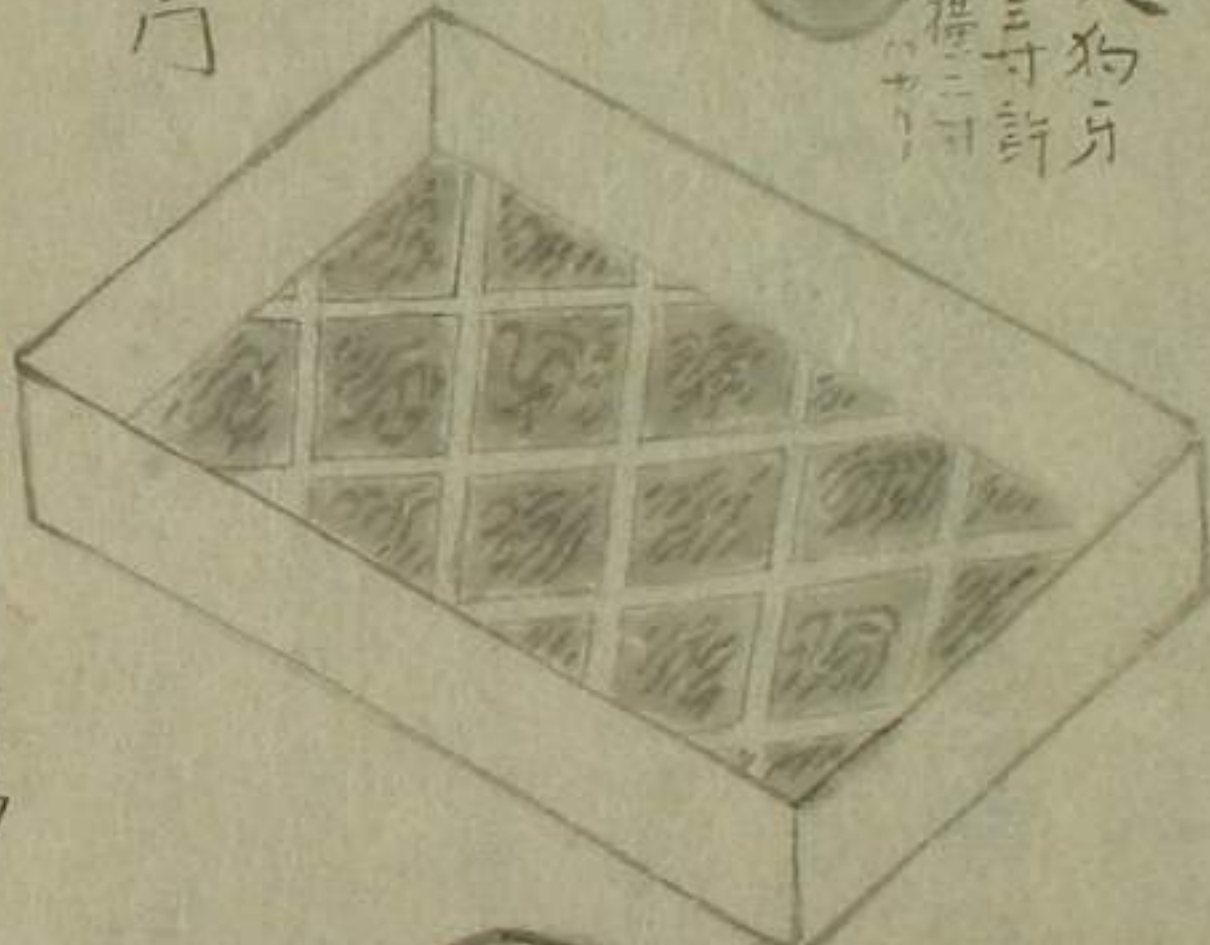
○ 佐藤氏
今形
左門
兜



○ 尾公懷
劔



○ 大天狗
片
長三寸許
帶二寸



○ 美經直齒切



○ 辨慶太刀
刃徑三寸



○ 每子自
上馬
下馬



何處
大城戶

伊達大城戸の事
左の圖す
大城戸の事
中城戸の事
要害堅固なり

甲冑堂

壯士飯末晚母公
不知長島甲冑堂
其二

伊達大城戸
守城理差
伊達大城戸



新慶
石

大城戸

和

大城戸
五十四郡
一大園想見
残墨直連山

甲冑堂

伊達大城戸
悲傷孝婦
伊達大城戸



伊達大城戸

三丁堀

義経公
乃公

伊達大城戸
伊達大城戸
伊達大城戸

○大川

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

○大川

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

○大川

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

城下

城下ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

城下ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

城下ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

大川

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は

○十九

大川ノ水は北へ流るる所ありて其の源は





